平成25年10月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年9月12日

上場会社名	株式会社オハラ		上場取引所　東
コード番号	5218	ＵＲＬ　http://www.ohara-inc.co.jp/	
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）齋藤　弘和	
問合せ先責任者	（役職名）常務取締役	（氏名）中島　隆	ＴＥＬ　042（772）2101
四半期報告書提出予定日	平成25年9月13日	配当支払開始予定日　－	

四半期決算補足説明資料作成の有無：　無

四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年10月期第３四半期の連結業績（平成24年11月1日～平成25年7月31日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年10月期第３四半期	19,345	△17.6	△701	－	706	△43.4	△1,450	－
24年10月期第３四半期	23,464	15.8	967	22.5	1,247	42.0	879	60.5

（注）包括利益　25年10月期第３四半期　2,982百万円（722.4%）　24年10月期第３四半期　362百万円（△53.0%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年10月期第３四半期	△59.61	－
24年10月期第３四半期	36.16	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年10月期第３四半期	58,751	42,341	71.3	1,721.33
24年10月期	57,015	39,877	69.3	1,625.18

（参考）自己資本　25年10月期第３四半期　41,872百万円　24年10月期　39,533百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年10月期	－	0.00	－	20.00	20.00
25年10月期	－	0.00	－		
25年10月期（予想）				－	－

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　有

平成25年10月期の期末配当予想額につきましては、現時点では「未定」であります。詳細につきましては、本日公表の「特別損失の計上、業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

３．平成25年10月期の連結業績予想（平成24年11月1日～平成25年10月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	△21.0	△1,000	－	500	△67.1	△1,600	－	△65.77

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無
　　新規　　－社 、除外　　－社

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：	有
②　①以外の会計方針の変更	：	無
③　会計上の見積りの変更	：	有
④　修正再表示	：	無

（注）第１四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料３ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年10月期３Ｑ	25,450,000株	24年10月期	25,450,000株
②　期末自己株式数	25年10月期３Ｑ	1,124,474株	24年10月期	1,124,474株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年10月期３Ｑ	24,325,526株	24年10月期３Ｑ	24,325,589株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

　この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

　本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における世界経済は、総じて低調に推移しました。アジア地域では、中国のほか、ＡＳＥＡＮ諸国や新興国の多くも成長率が鈍化しました。米国では、景気は緩やかな回復が続きましたが、欧州では、信用不安は後退したものの経済の停滞が続きました。わが国経済は、輸出の持ち直しや円高修正を背景に、景気は緩やかに持ち直しました。

当社グループが関連する光事業の関連機器市場では、デジタルカメラは、コンパクトタイプの市場縮小が続き、レンズ交換式タイプや交換レンズの市場にも海外市場において減速感が見られました。エレクトロニクス関連機器市場では、ノートPCの需要減少によりハードディスクドライブも低水準で推移しました。また、露光装置市場では、半導体向けは設備投資に改善傾向が見られ、液晶向けは中小型パネル向けが堅調に推移しました。

このような状況のもと、当第３四半期連結累計期間の業績は、次のとおりとなりました。

売上高は、デジタルカメラ向け光学機器用レンズ材の需要が伸び悩み、ハードディスク用ガラス基板材の需要も低迷が続いたことから、19,345百万円（前年同期比17.6%減）となりました。

損益面では、光学機器用レンズ材やハードディスク用ガラス基板材の販売数量減少に伴い、設備稼働率の低迷が続いたことなどから、売上総利益は3,265百万円（同36.9%減）となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費や運搬費など一部経費が減少したことにより、3,966百万円（同5.7%減）となりましたが、営業損失を701百万円（前年同期は967百万円の営業利益）計上する結果となりました。経常利益は、為替差益を計上したことなどにより、706百万円（前年同期比43.4%減）となりました。

四半期純損失は、投資有価証券売却益を計上したものの、ハードディスク基板の生産設備について減損損失やたな卸資産評価損などを計上した結果、1,450百万円（前年同期は879百万円の四半期純利益）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 光事業

当事業の主力製品であります光学プレス品は、デジタルカメラの販売不振により生産調整が長期化するなど需要回復の足どりが鈍く、販売が減少しました。また、光学ブロック品も加工メーカー向けの販売が減少しました。この結果、当事業の売上高は14,834百万円（前年同期比16.5%減）、営業損失は100百万円（前年同期は1,078百万円の営業利益）となりました。

② エレクトロニクス事業

ハードディスク用ガラス基板材は、ノートPCの需要減少や新規開発品の量産化遅れなどが重なり、販売数量が低迷しました。また、半導体露光装置向け高均質光学ガラスや石英ガラスの需要も減少しました。一方、極低膨張ガラスセラミックスは、特殊用途向けの引き合いが増加し堅調に推移しました。

これらの結果、当事業の売上高は4,511百万円（前年同期比20.8%減）、営業損失は600百万円（前年同期は110百万円の営業損失）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における総資産は58,751百万円（前連結会計年度末比3.0%増）となりました。これは主に、一部在外子会社にて減損損失による機械装置及び運搬具などの減少があったものの、台湾への光学ガラス生産拠点新設に伴い、建物及び構築物が増加したほか、受取手形及び売掛金の回収などにより、現金及び預金の増加があったことなどによるものであります。

流動資産の残高は29,169百万円（同0.1%増）となりました。これは、受取手形及び売掛金が減少したほか、たな卸資産のうち、原材料及び貯蔵品と商品及び製品が減少したものの、現金及び預金が増加したことなどによるものであります。

固定資産の残高は29,581百万円（同6.1%増）となりました。これは、有形固定資産において、建物及び構築物が増加したことや、投資その他の資産において、投資有価証券が時価評価により増加したことなどが主な要因であります。

流動負債の残高は11,490百万円（同1.0%減）となりました。これは、支払手形及び買掛金が減少したことなどが主な要因であります。

固定負債の残高は4,919百万円（同11.1%減）となりました。これは、長期借入金が減少したことなどが主な要因であります。

当第３四半期連結会計期間末における純資産の残高は42,341百万円（同6.2%増）となりました。これは、減損損失の計上などにより利益剰余金は減少したものの、為替が円安に変動したことにより、為替換算調整勘定が増加したことや、その他有価証券評価差額金が時価評価により増加したことなどが主な要因であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの通期業績予想につきましては、当第３四半期連結累計期間の状況を踏まえ、平成25年６月13日公表の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては 本日発表の「特別損失の計上、業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（有形固定資産の減価償却の変更）

当社及び国内連結子会社は、第１四半期連結会計期間より、取得した有形固定資産について、従来から採用している減価償却の方法を、法人税法の改正に伴い、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第３四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年10月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年７月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,408,097	9,511,630
受取手形及び売掛金	8,865,674	7,419,717
有価証券	8,621	8,624
商品及び製品	1,991,437	1,905,451
仕掛品	5,425,063	5,671,016
原材料及び貯蔵品	4,169,109	3,641,670
繰延税金資産	511,730	431,254
その他	785,981	608,493
貸倒引当金	△19,791	△28,352
流動資産合計	29,145,924	29,169,507
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,599,926	10,994,278
減価償却累計額	△5,436,982	△5,796,193
建物及び構築物（純額）	4,162,943	5,198,084
機械装置及び運搬具	20,036,676	21,768,007
減価償却累計額	△14,501,886	△16,886,861
機械装置及び運搬具（純額）	5,534,790	4,881,145
工具、器具及び備品	12,553,729	12,799,774
減価償却累計額	△1,866,620	△2,086,617
工具、器具及び備品（純額）	10,687,109	10,713,156
土地	307,992	319,279
建設仮勘定	1,459,869	2,085,399
有形固定資産合計	22,152,705	23,197,065
無形固定資産	93,051	112,184
投資その他の資産		
投資有価証券	4,443,408	4,908,985
長期貸付金	460,000	460,000
繰延税金資産	27,888	25,121
その他	692,359	878,540
投資その他の資産合計	5,623,656	6,272,648
固定資産合計	27,869,413	29,581,897
資産合計	57,015,338	58,751,405

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年10月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年７月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,031,057	2,801,438
短期借入金	6,179,158	6,127,675
未払法人税等	251,055	219,198
繰延税金負債	1,038	22,502
賞与引当金	530,796	364,814
役員賞与引当金	48,422	47,700
未払金	1,018,192	1,122,232
その他	546,934	784,568
流動負債合計	11,606,654	11,490,130
固定負債		
長期借入金	3,964,912	3,146,978
繰延税金負債	578,589	743,753
退職給付引当金	715,807	738,504
役員退職慰労引当金	169,864	188,767
環境対策引当金	3,725	3,725
資産除去債務	92,949	92,949
その他	5,741	4,659
固定負債合計	5,531,590	4,919,339
負債合計	17,138,244	16,409,469
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,855,000	5,855,000
資本剰余金	7,930,785	7,930,785
利益剰余金	29,567,792	27,631,141
自己株式	△1,549,049	△1,549,049
株主資本合計	41,804,529	39,867,877
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,254,125	1,569,369
為替換算調整勘定	△3,525,373	435,128
その他の包括利益累計額合計	△2,271,248	2,004,498
少数株主持分	343,812	469,558
純資産合計	39,877,093	42,341,935
負債純資産合計	57,015,338	58,751,405

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年11月１日 至　平成24年７月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年11月１日 至　平成25年７月31日）
売上高	23,464,851	19,345,869
売上原価	18,289,381	16,079,994
売上総利益	5,175,469	3,265,874
販売費及び一般管理費	4,208,034	3,966,998
営業利益又は営業損失（△）	967,435	△701,123
営業外収益		
受取利息	17,735	20,989
受取配当金	66,368	75,092
為替差益	－	1,181,692
持分法による投資利益	93,241	15,323
試作品等売却収入	105,274	34,498
その他	109,108	177,077
営業外収益合計	391,727	1,504,673
営業外費用		
支払利息	62,006	57,887
為替差損	24,618	－
その他	25,325	39,293
営業外費用合計	111,950	97,181
経常利益	1,247,212	706,367
特別利益		
固定資産売却益	3,625	－
投資有価証券売却益	－	462,569
特別修繕引当金戻入額	143,200	－
特別利益合計	146,825	462,569
特別損失		
減損損失	－	1,800,226
固定資産除却損	48,488	－
たな卸資産評価損	－	263,451
特別損失合計	48,488	2,063,677
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	1,345,549	△894,740
法人税等	423,549	498,846
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	922,000	△1,393,587
少数株主利益	42,406	56,553
四半期純利益又は四半期純損失（△）	879,593	△1,450,140

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年11月１日 至　平成24年７月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年11月１日 至　平成25年７月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	922,000	△1,393,587
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△308,632	315,244
為替換算調整勘定	△276,967	3,667,325
持分法適用会社に対する持分相当額	26,212	393,057
その他の包括利益合計	△559,386	4,375,627
四半期包括利益	362,613	2,982,040
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	319,628	2,825,606
少数株主に係る四半期包括利益	42,984	156,434

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成23年11月１日　至平成24年７月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	光事業	エレクトロニクス事業	合計（注）
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	17,770,773	5,694,077	23,464,851
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	17,770,773	5,694,077	23,464,851
セグメント利益又は損失（△）	1,078,325	△110,889	967,435

（注）セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成24年11月１日　至平成25年７月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	光事業	エレクトロニクス事業	合計（注）
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	14,834,697	4,511,171	19,345,869
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	14,834,697	4,511,171	19,345,869
セグメント損失（△）	△100,168	△600,955	△701,123

（注）セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（固定資産に係る重要な減損損失）
エレクトロニクス事業において、連結子会社であるOHARA DISK(M)SDN.BHD.は、ハードディスク用ガラス基板材を製造しておりますが、一部工程の能力縮小を決定したことに伴い、同社の資産に減損の兆候が認められたことから、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失1,800,226千円を特別損失に計上しております。